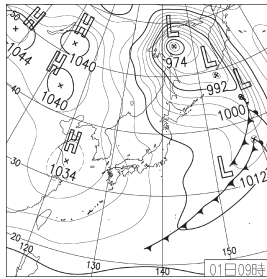


日々の天気図

—No. 216

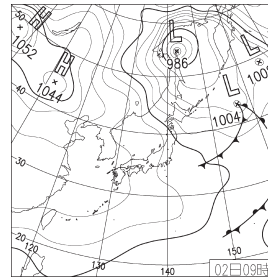
2020年1月

・8日、低気圧が発達、各地で暴風。
 ・27～31日、低気圧が日本列島に沿って北東進。九州から東北にかけて記録的な大雨。西日本では暴風。北海道では大雪や暴風雪も。
 ・冬型の気圧配置続かず。西・東日本で記録的な高温。日本海側の月降水量は先月に続き記録的に少。
 (気象庁予報部予報課)



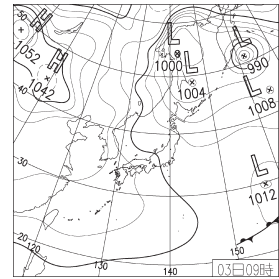
1日(水)太平洋側は晴れ

冬型の気圧配置。北海道は気圧の傾きが大きく日本海側では暴風雪。北陸～東北日本海側は雪や雨。西～東日本の太平洋側は晴れ。松山、広島などで初霜。長崎、高知などで初氷。



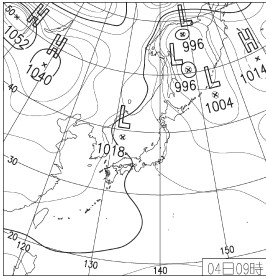
2日(木)和歌山で初霜・初氷

冬型の気圧配置は西から次第に緩む。西日本～北日本日本海側は曇りや雪または雨。太平洋側は概ね晴れ。北日本の暴風や暴風雪は次第に収まる。大阪では最も遅い記録に並ぶ初氷。



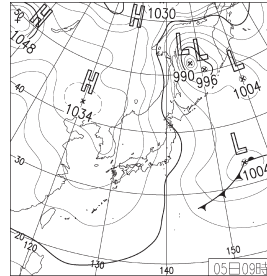
3日(金)冬型の気圧配置続く

北日本は日本海側を中心に雪や雨で、ふぶきの所も。日本海は気圧の谷となり、山陰から北陸は雨または雪。新潟県川谷の日降水量50.5mm。明け方に茨城県・千葉県で震度4。



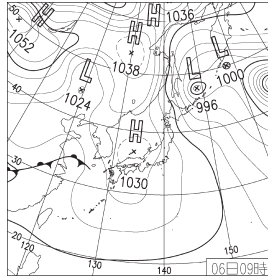
4日(土)東京で初雪

日本付近は弱い冬型の気圧配置。日中は、太平洋側で晴れたが北日本日本海側は曇りや雪。日本海の低気圧が南下し、西～東日本は日本海側を中心に夜は雨や雪で雷を伴う所も。



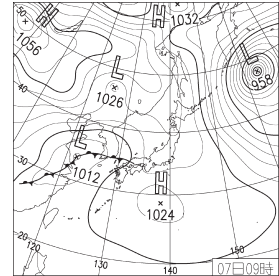
5日(日)大阪で初雪

冬型の気圧配置で、北海道の上空約1500mには-15℃以下の寒気が流入。山陰以北の日本海側を中心に雪や雨。長野県野沢温泉と新潟県津南で日降雪量28cm。宮古島市でツバキ開花。



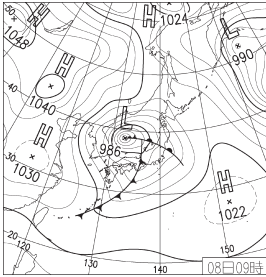
6日(月)那覇市でサクラ開花

華中から前線が近づき、西～東日本の太平洋側は次第に曇って午後には雨の所も。北日本は寒気の影響で日本海側を中心に雪や雨。那覇市でヒカンザクラ、ウメ開花。鏡子で初氷。



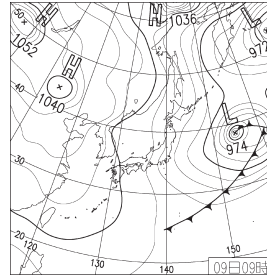
7日(火)西日本で気温上昇

高気圧に覆われた沖縄・奄美と北海道は概ね晴れ。その他は、低気圧や前線の影響で曇りや雨または雪。最高気温は大分県院内の21.8℃など、九州を中心に31地点で1月の1位。



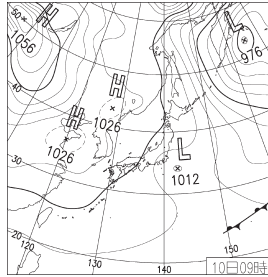
8日(水)高知県で竜巻

日本海で低気圧が発達し全国的に雨や雪。東京都三宅島で最大瞬間風速34.5m/sなど風が強く、各地で被害発生。最高気温も高く、西～東日本の70を超える地点で1月1位の値に。



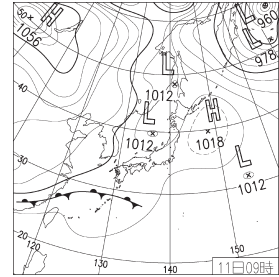
9日(木)本州日本海側は雨や雪

東北は気圧の谷の影響で午前中を中心に雪や雨。山陰～北陸は低気圧の接近で午後は次第に雨。西～東日本太平洋側は概ね晴れ。東日本～東北では最高気温が4月上旬並の所も。



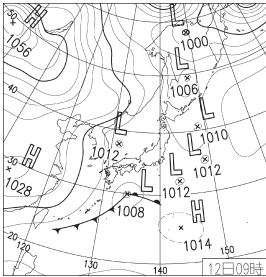
10日(金)旭川で細氷観測

山陰から東北の日本海側は寒気の影響により雨や雪。その他は概ね晴れ。北海道は内陸が冷え込み、江丹別の最低気温-25.0℃。旭川で細氷(ダイヤモンド)観測。



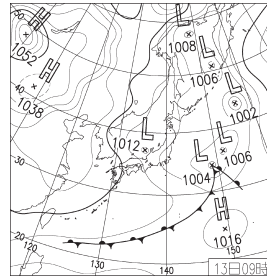
11日(土)北日本を低気圧が通過

南西諸島は前線の影響で雨。西日本や東日本太平洋側は、大陸や日本の東の高気圧に覆われて日中は概ね晴れ。北日本と北陸は低気圧の通過で雨や雪に。熊谷で未明に初雪。



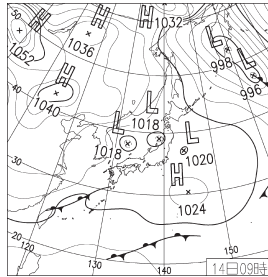
12日(日)低気圧が日本列島進む

前線を伴った低気圧が日本の南を東に進み、日本海やオホーツク海、日本の東にも複数の低気圧。全国的に曇りや雨で、所々で雨や雪。金沢市で平年より50日早くツバキ開花。



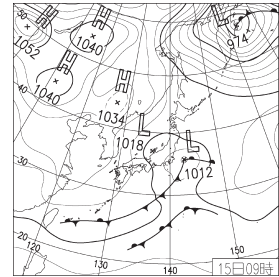
13日(月)北陸は雨や雪

冬型の気圧配置。日本海の低気圧の影響で北陸は雨や雪。石川県宝達志水で19mm/1hは1月1位。南西諸島は前線の影響で曇りや雨。その他は太平洋側を中心に晴れや曇り。



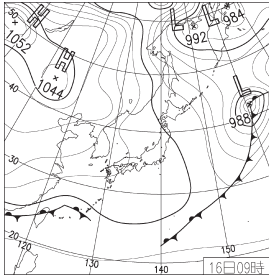
14日(火)西日本は天気下り坂

北陸～北日本は日本海の低気圧や寒気の影響により所々で雪や雨。東シナ海から前線が近づき、南西諸島～西日本は次第に雨や雪。東海も夜には雨。明け方、関東で震度4。

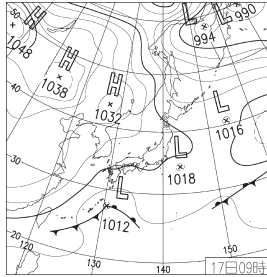


15日(水)冬型の気圧配置に移行

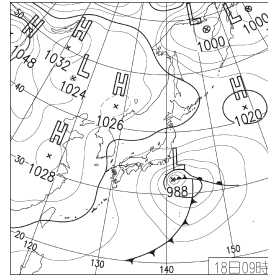
東日本～東北の太平洋側は関東付近を北東に進む低気圧の影響で雨や雪。西～北日本の日本海側は日本海の低気圧や寒気の影響で雨や雪。東日本を中心に朝の最低気温が4月並に。



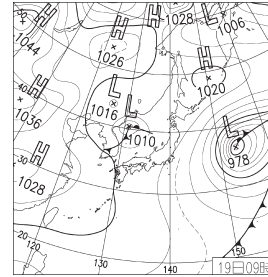
16日(木)前橋で最も遅い初霜
東シナ海から停滞前線が近づき天気は西から下り坂。南西諸島や九州南部では午後は雨に。北陸と北日本は、寒気の影響で雪や雨。前橋で平年より61日遅く初霜。沖縄県で震度4。



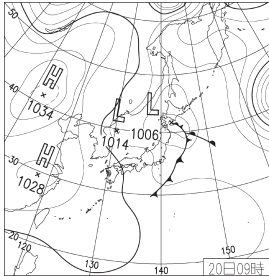
17日(金)南岸低気圧
前線を伴った低気圧が四国の南を東に進み、沖縄・奄美と西日本～東日本太平洋側で曇りや雨、標高の高い地域や内陸では雪の所も。北陸以北の日本海側は寒気の影響で雪や雨。



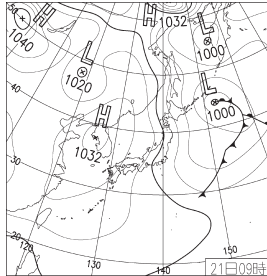
18日(土)関東甲信は雨や雪
関東の南を低気圧が発達しながら北東進。関東甲信は雨や雪で平野部でも所々で雪。九州北部も気圧の谷の影響で雨。その他は曇りや晴れ。東京都八丈島で最大瞬間風速28.3m/s。



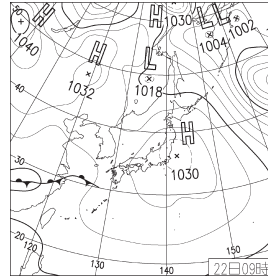
19日(日)日本海を低気圧が東進
低気圧の影響で北陸～東北は夜には雪や雨で雷を伴う所も。沖縄～九州は所々雨。北海道は朝冷え込み、最低気温が平年より6℃以上低い所も。高知市、奈良市、福井市でウメ開花。



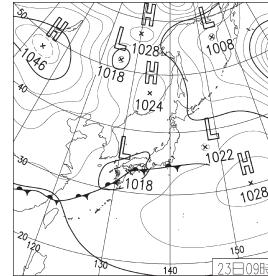
20日(月)暖かな大寒
前線を伴った低気圧が北日本を通過。北陸や北日本は雪や雨、西日本～東日本の太平洋側は概ね晴れ。最高気温は全国的に平年より高く、広く3月並に。福岡市、銚子市でウメ開花。



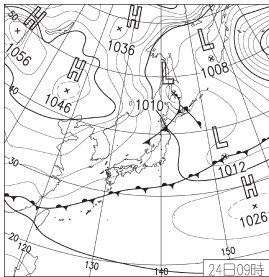
21日(火)冬型の気圧配置
日本付近は、はじめ冬型の気圧配置だが、次第に高気圧に覆われる。山陰～北陸や北日本は雪や雨。西～東日本の太平洋側は概ね晴れ。宮崎市、松山市でヒバリ初鳴。茨城県で震度4。



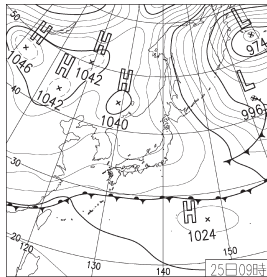
22日(水)高気圧日本の東へ
東シナ海の前線が九州にのび、前線上に低気圧が発生。西～東日本は初め晴れたが次第に曇って西から雨に。北日本にも気圧の谷が接近し北海道日本海側で雪。沖縄・奄美は晴れ。



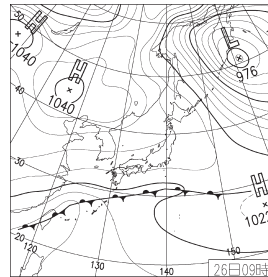
23日(木)奄美市でサクラ開花
低気圧が本州付近を東進。西日本～東北南部の広い範囲で雨。未明には九州北部で強い雨となり、1時間降水量が1月1位の所も。高気圧に覆われた北海道は概ね晴れ。



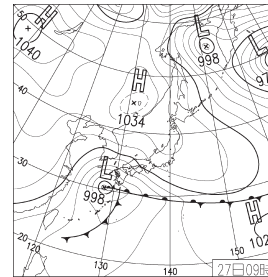
24日(金)名瀬で2日連続の夏日
北陸や北日本は前線通過の影響で雪や雨。西日本は停滞する前線の影響で曇りや雨。沖縄・奄美は概ね晴れて気温が上昇。鹿児島県名瀬は1月として54年ぶり。2日連続の夏日に。



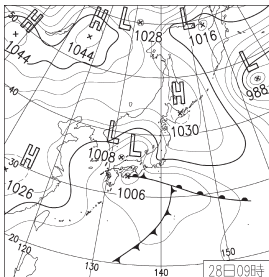
25日(土)那覇で2日連続の夏日
東シナ海～日本の南には前線が停滞。九州・四国や、夜には本州の南岸でも雨。北海道は寒気の影響で雪。沖縄・奄美は晴れて、沖縄県安次嶺27.6℃など7地点で最高気温が1月1位。



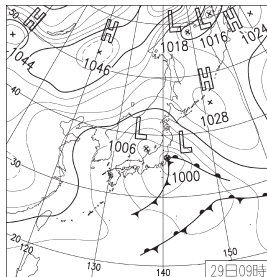
26日(日)日本の南に前線停滞
停滞前線の影響で南西諸島と西～東日本太平洋側は雨。山陰～北陸と東北、北海道太平洋側は概ね晴れ。北海道日本海側は寒気の影響で所々雪。鹿児島県屋久島で日降水量120.5mm。



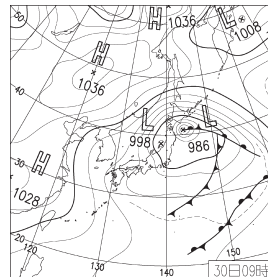
27日(月)西日本、大荒れ
低気圧が東シナ海から九州付近に進み西日本は大荒れの天気。愛媛県宇和の最大瞬間風速30.2m/sと大分県佐伯の117.5mm/hは通年1位。東京、熊谷市でウメ開花。



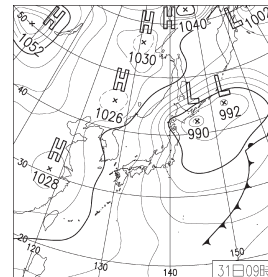
28日(火)大阪最高気温19.1℃
低気圧が四国から東海道沖へ。西日本～東北は雨や雪。高知県佐喜浜で未明に104.5mm/1hの猛烈な雨。近畿や北陸で気温上昇。大阪の最高気温は1月1位を104年ぶりに更新。



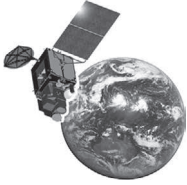
29日(水)石垣市でサクラ開花
低気圧が関東から東北太平洋沿岸を北上。千葉県大多喜32mm/hなど関東は昼前にかけて所々で大雨。北日本は大荒れで、福島県相馬の日降水量157mmは1月1位の値。



30日(木)北海道でなだれ発生
北日本の低気圧がゆっくり北東進。北海道は雪で、中頓別の日降雪量43cmなどオホーツク側を中心に大雪。山陰～東北の日本海側は寒気の影響で雨や雪。九州も所々で雨。

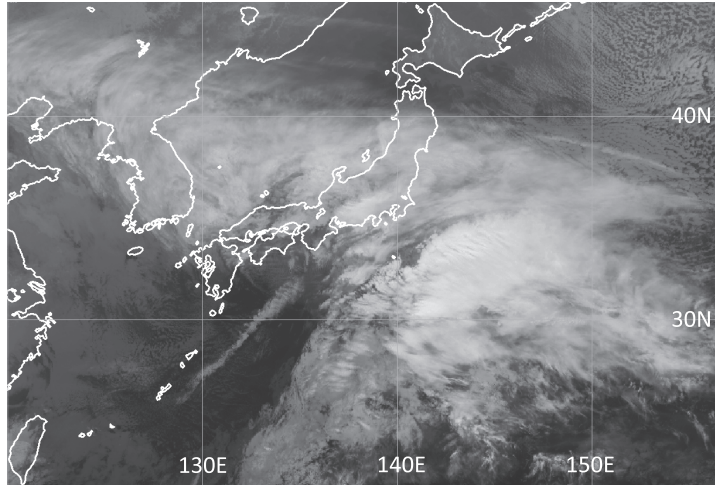


31日(金)冬型の気圧配置
南西諸島は雨。西日本～東日本日本海側と北日本は雨や雪。北海道遠軽で日降雪量54cm。北日本中心に風が強く、稚内でも最大瞬間風速29.4m/s。松山、岡山、京都で最も遅い初雪。



今月のひまわり画像—2020年1月

1月に記録的な大雨をもたらした低気圧

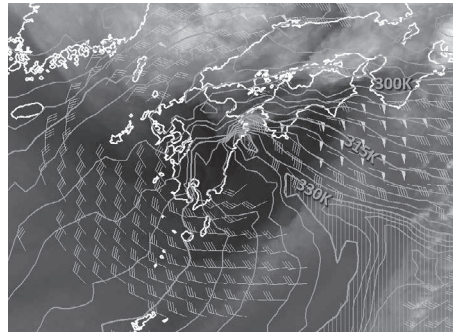


第1図 2020年1月27日19時（日本時間）の日本付近の赤外画像。

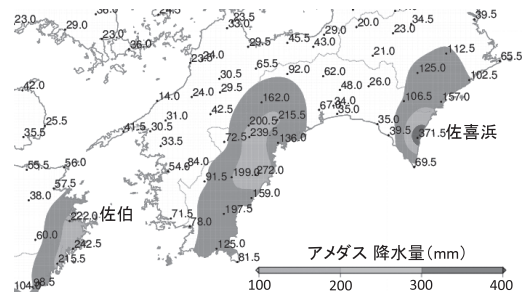
2020年1月27日（日本時間），東シナ海で発達中の低気圧が閉塞し，同日夜に豊後水道の南を通して，28日09時には土佐湾へ進んだ（「日々の天気図」参照）．第1図は27日19時の赤外画像，第2図は同時刻の水蒸気画像に気象庁局地モデル（LFM）の975hPa面における相当温位と風を重ね合わせた図である．この時刻，低気圧の中心は日向灘にあり，中心に向かって，水蒸気画像によると中層では低気圧の中心付近まで乾燥した空気が流入していた．975hPa面では相当温位330K前後の1月としてはかなり暖湿な気塊が流れ込んでいた．また，低気圧の北東象限では東寄りの下層風が50kt前後と強く，対流雲の発達には東斜面の地形効果も影響していたと考えられる．同時刻の大分県付近の対流雲の雲頂高度は， T_{BB} （等価黒体温度）で約 -48°C （高度約11kmに相当）となっていた．

この低気圧により，アメダスによる1時間降水量は，大分県佐伯市佐伯では同日19時27分までに117.5mmとなり，通年の極値を更新し，高知県室戸市佐喜浜では28日01時21分までに104.5mmを観測して，1月の極値を更新した．また，宮崎，大分，高知の3県では第3図のとおり，48時間降水量200mm以上となり，1月としては記録的な大雨となった所があった．

（気象庁予報部予報課 原 基）



第2図 第1図と同時刻の西日本付近の水蒸気画像にLFM（同日18時初期値）の975hPa面における相当温位（3K毎，ハッチ域は330K以上の領域），風（30kt（1kt \approx 0.51m/s）以上を表示，長い矢羽根が10kt）を重ね合わせた図。



第3図 2020年1月28日18時の四国付近のアメダスによる前48時間降水量分布図。